

## 植林活動の始まり

医療法人医誠会 理事長 谷幸治と中日友好病院の交流がきっかけとなり、中国 内モンゴル自治区にあるクブチ砂漠の恩格貝(おんかくばい)という砂漠化最前線で「希望の社」と名付けた植林活動が始まりました。

## 植林活動の歴史

### tree planting activity history

2000

### 2000年「希望の社」設立

植林活動はこの一本からはじまりました。



2014

### 2016年2月

- 第1回目 寄附
- 京都大学霊長類研究所 所長 湯本先生を訪問しました。NGO「HUTAN」代表イザベル・ラックマン博士を紹介いただきました。



2015

2016

### 2017年～2019年

#### 「マレーシア ボルネオ島」

- 第1回～第3回 植林活動
- 第2回～第4回目となる寄附を現地で行いました。



2017

2018

2019

2020

### 2020年9月～2022年9月

オンライン贈呈式を開催

2021

2020年9月  
第5回目 寄附

2022

2021年9月  
第6回目 寄附

2022年9月  
第7回目 寄附



2005

### 2005年「未来プロセス」設立

2003年8月～2008年7月  
「中国 内モンゴル地区クブチ砂漠」

第1回～第6回 植林活動



2010

### 2003年「緑の募金箱」活動スタート

2003年から始まった緑の募金箱活動。グループ内全施設や健康フォーラムや公開医学講座などで集まった寄附金に、未来プロセスからの寄附を合わせてNGO「HUTAN」へ毎年寄附を行っています。



2023

### 2023年10月

- 創造空間展示
- 緑の募金自動販売機の設置



(医誠会国際総合病院内NORTH WING(北棟)3F)



詳しくはこちら

